

グローバルファンドの保健システム強化への支援 ～新型コロナに対応し将来のパンデミックに備える～

2021年4月7日
グローバルファンド日本委員会 第32回議員タスクフォース会合

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）
事務局長 ピーター・サンズ

本日のアジェンダ

各国のコロナ対応への支援

グローバルファンドの保健システム支援
(健康のための強靱で持続可能なシステム)

グローバルファンドの調達プラットフォーム

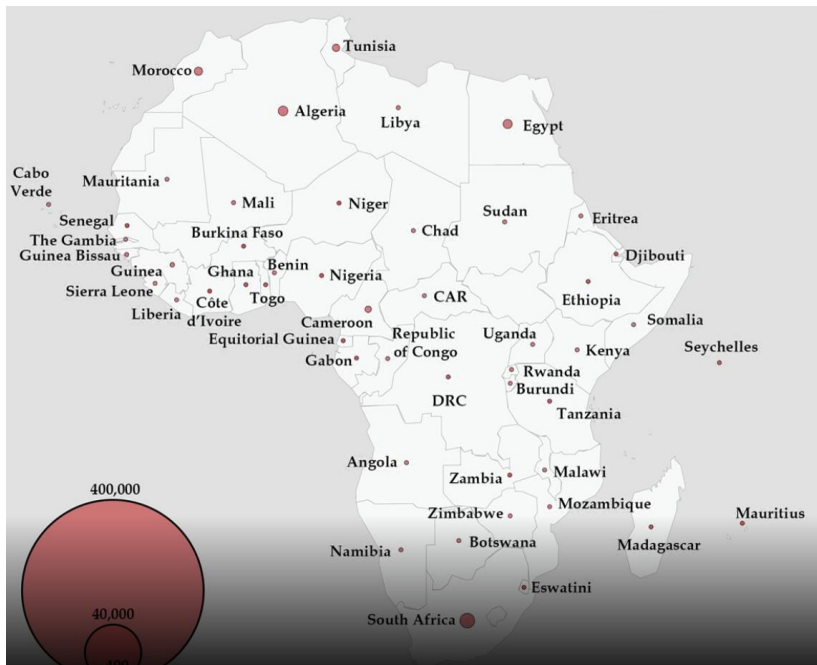
ACTアクセラレーターにおけるグローバルファンドの役割



アフリカにおける新型コロナウイルス拡大の状況

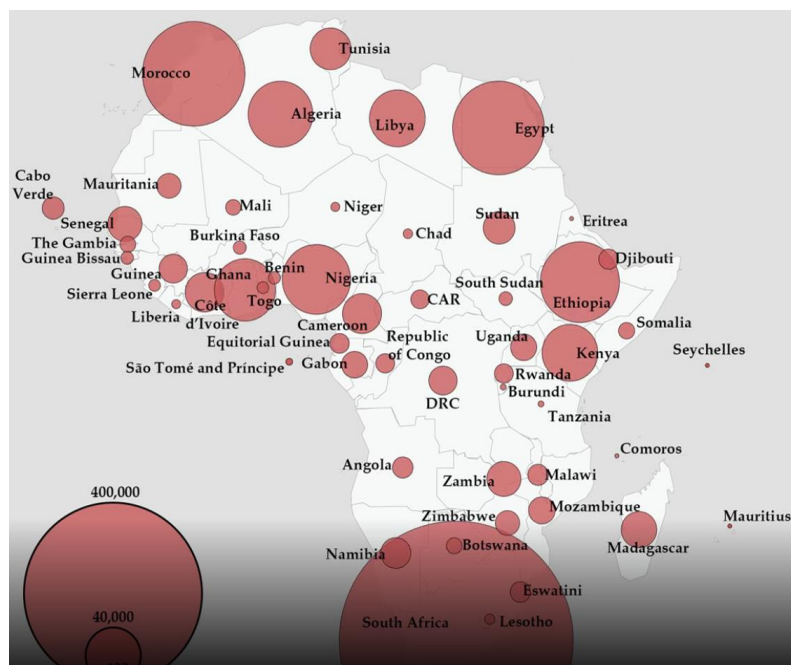
2020年4月4日

感染者数: 8,602



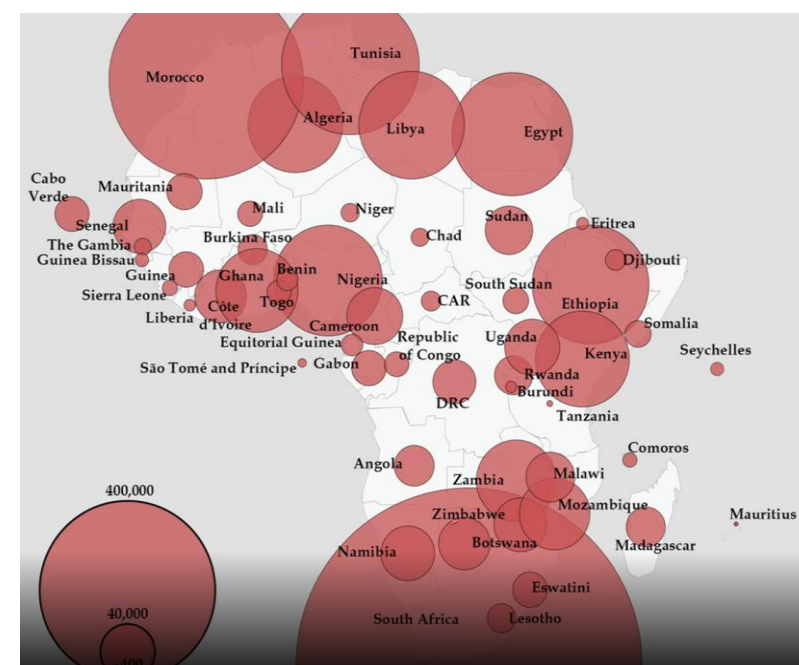
2020年10月3日

感染者数: 1,506,877



2021年3月13日

感染者数: 4,027,046



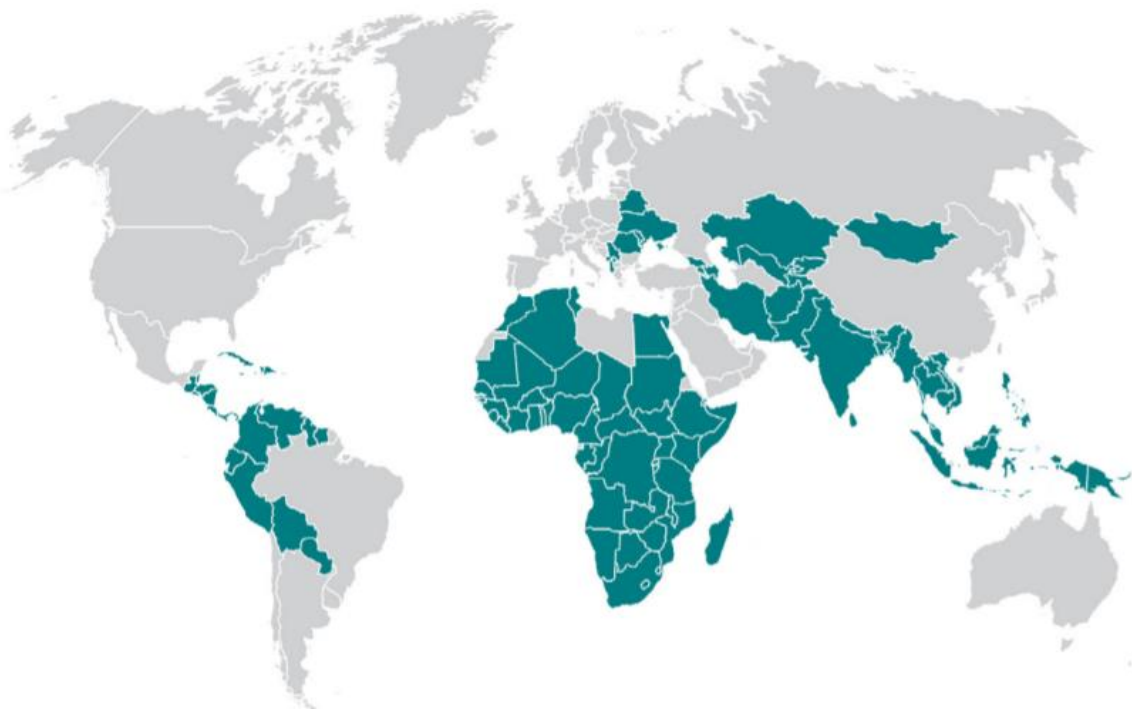
Source: <https://africacenter.org/spotlight/coronavirus-spreads-through-africa/>

グローバルファンドの新型コロナウイルス感染症対応

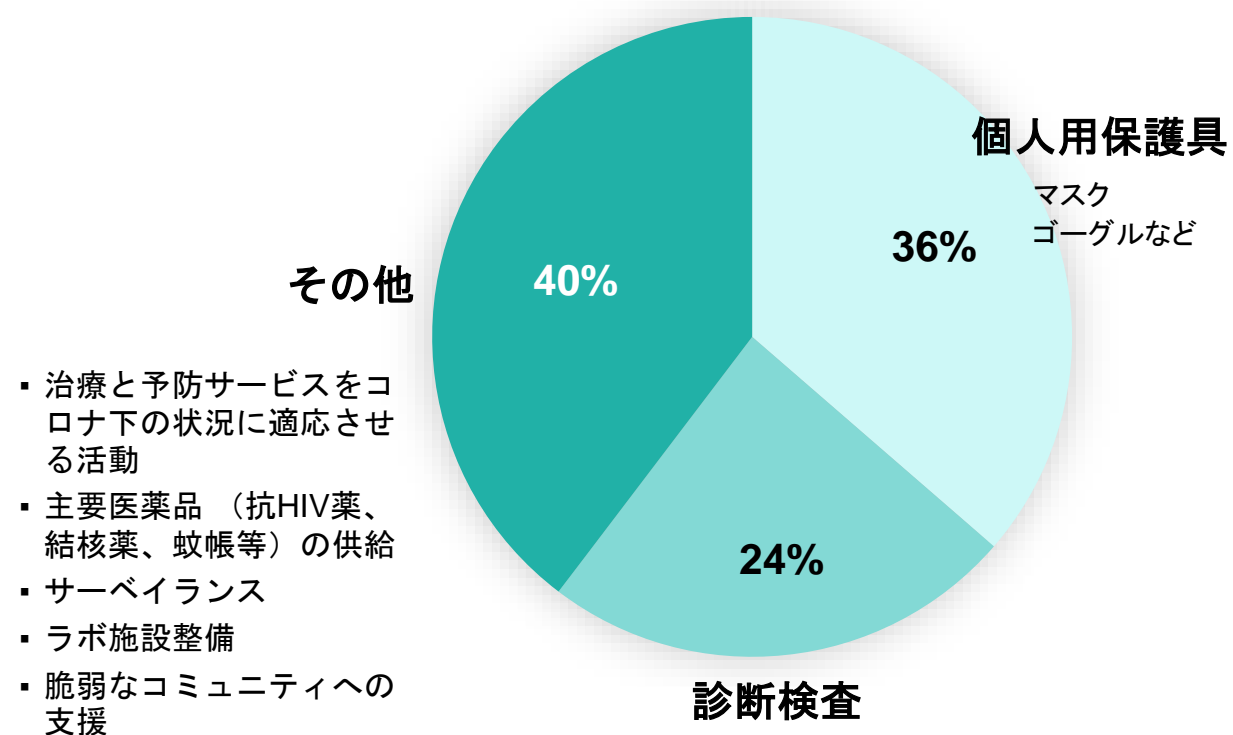
新型コロナの感染拡大の初期から迅速に対応

これまでに106の国と14の広域プログラムに約9.8億ドル

（約1080億円*）を承認



コロナ対応メカニズムの資金の使途（優先分野別）



*1USD=109.67円（2021年3月30日為替レート）で算出

2021年3月12日データ

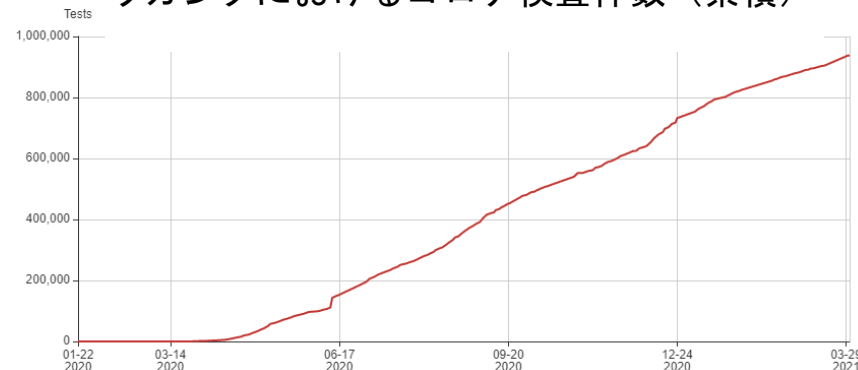
ウガンダにおける新型コロナの検査

保健システムとコミュニティ対応力の強化を通じて検査を拡大

- 既存の三大感染症対策に加え、コロナ追加支援：6200万ドル
- 長年にわたり三大感染症対策で強化してきた**保健システムとコミュニティの対応力**が、ウガンダのコロナ対策の基盤となった。
 - 検査ラボのネットワーク、サーベイランス体制が確立していること、研修を受けた疫学専門官が全国に配置されていることなど。
 - 具体例では、検体の移送システム、結核の診断機器、情報管理システムなどはコロナ対策にもすぐに活用
- ウガンダ保健省は、国内の検査数を上げるため、ラボでの検査サービスを分権化。



ウガンダにおけるコロナ検査件数（累積）

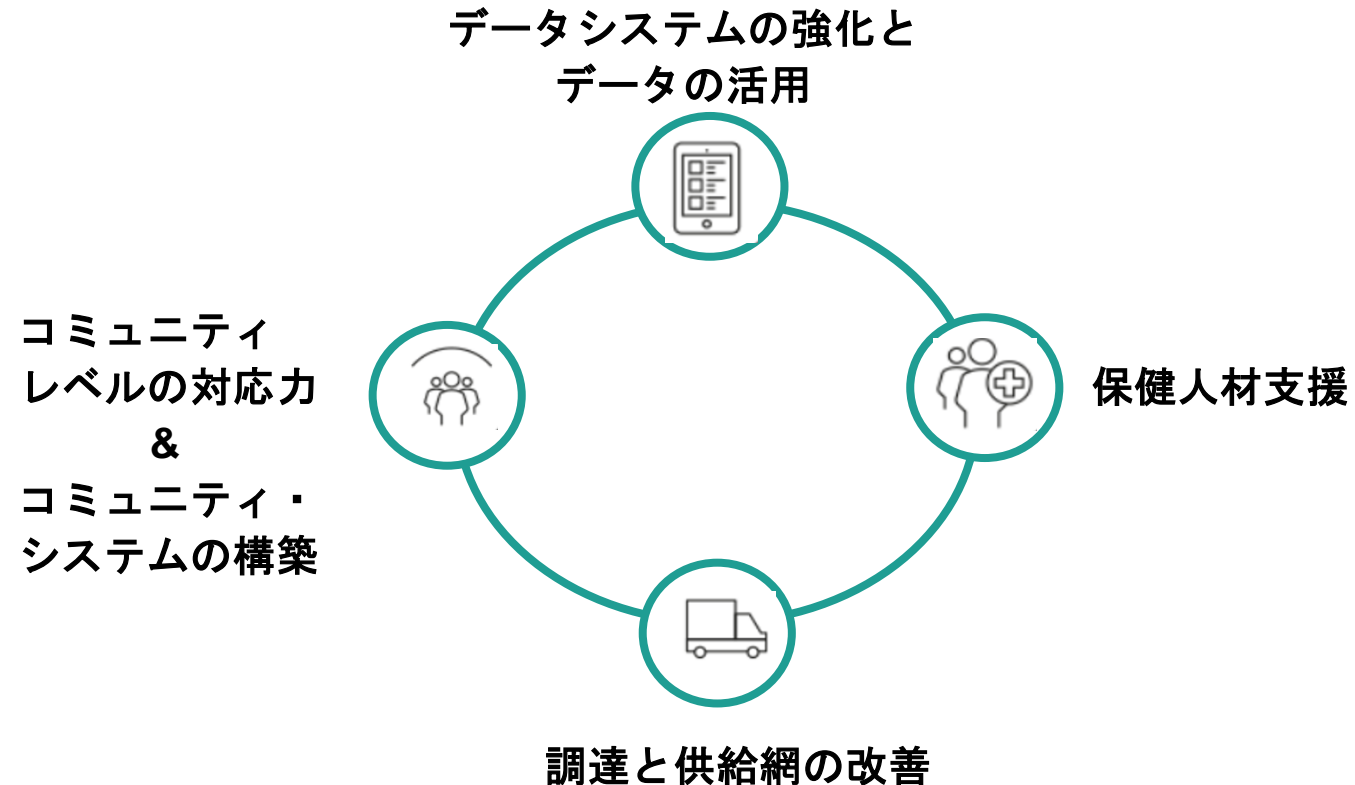


グローバルファンドの保健システム強化支援は国際機関の中では最大額

“健康のための強靱で持続可能なシステム” (Resilient and Sustainable Systems for Health: RSSH) に対し、年間投資額の25%を支援。

グローバルファンドの使命を果たすには、強靱な保健システムが重要と認識。

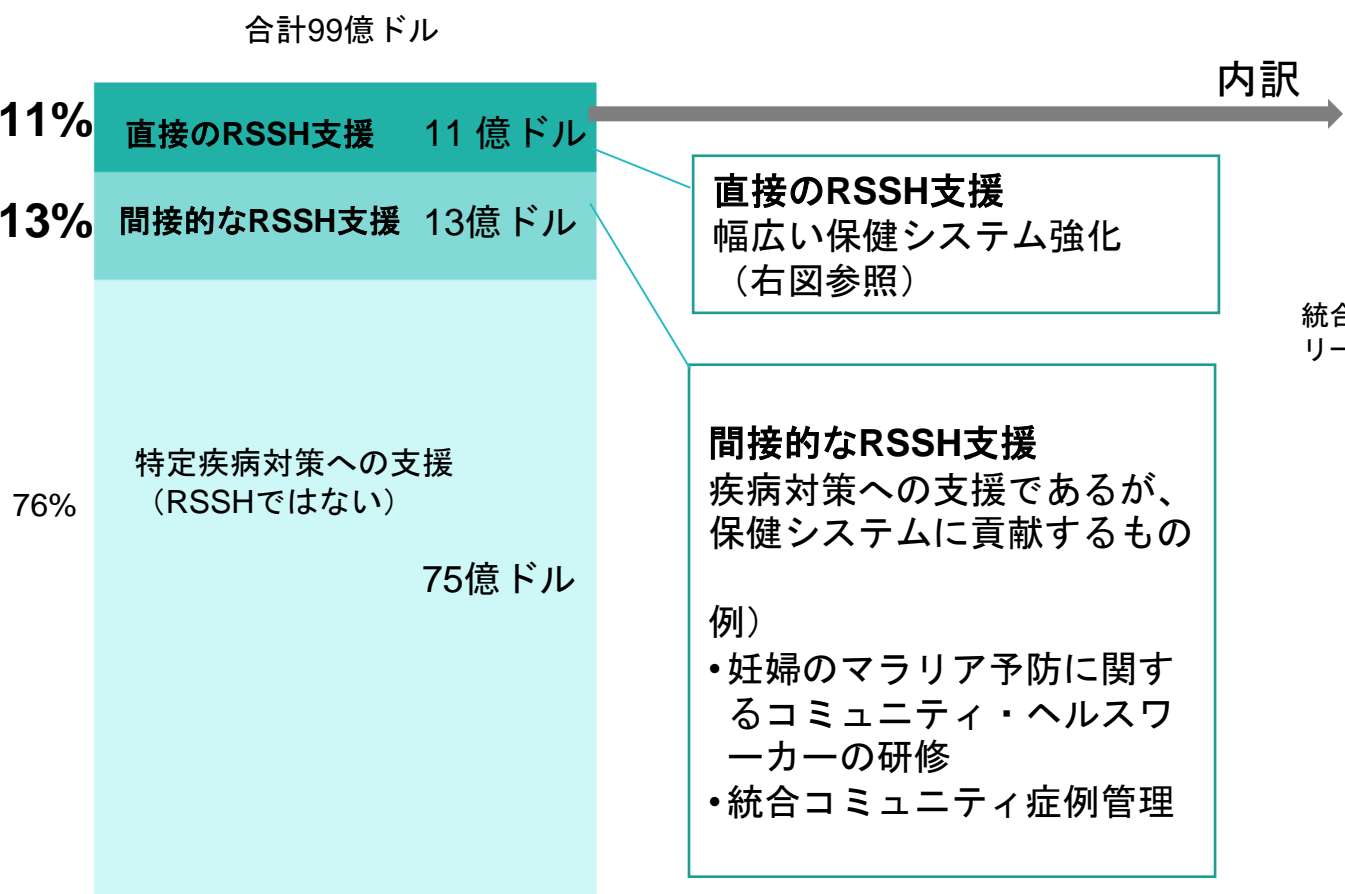
グローバルファンドの支援は、強靱で持続可能な保健システムの構築に貢献するとともに、様々な分野で各国を支援。



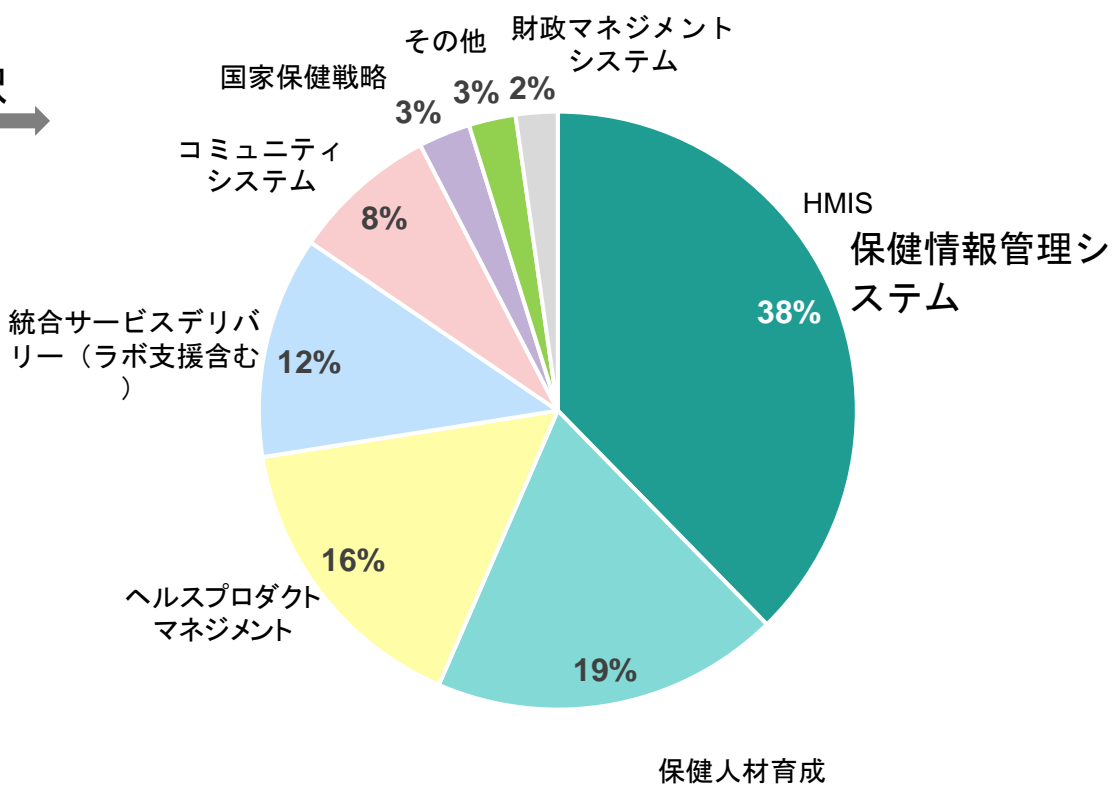
「健康のための強靱で持続可能なシステム」 （RSSH） への支援

（契約締結済み2020年～2022年資金供与案件における実績 2021年1月現在）

総支援額の24%は保健システム（RSSH）への投資



“直接のRSSH支援”の内訳



コミュニティ・システムの強化により保健サービスへのアクセスが拡大



© Amref Health Africa / Kennedy Musyoka



© The Global Fund / Atul Loke



© The Global Fund / NOOR / Robin Hammond

世界の公衆衛生の市場における主要プレーヤー

- グローバルファンドの支援のうち毎年20億ドル（約2200億円）が医薬品及び医療製品の調達に使用
- 各国は、以下3つの方法で調達可能
 - ・ グローバルファンドの共同調達メカニズム（毎年10億ドル）
 - ・ 低・中所得国自身の調達メカニズム
 - ・ その他の調達機関を通じて調達 —抗結核薬ファシリティ（GFF）やUNOPS等—

共同調達メカニズム



大量の需要をまとめ
購買力を最大化



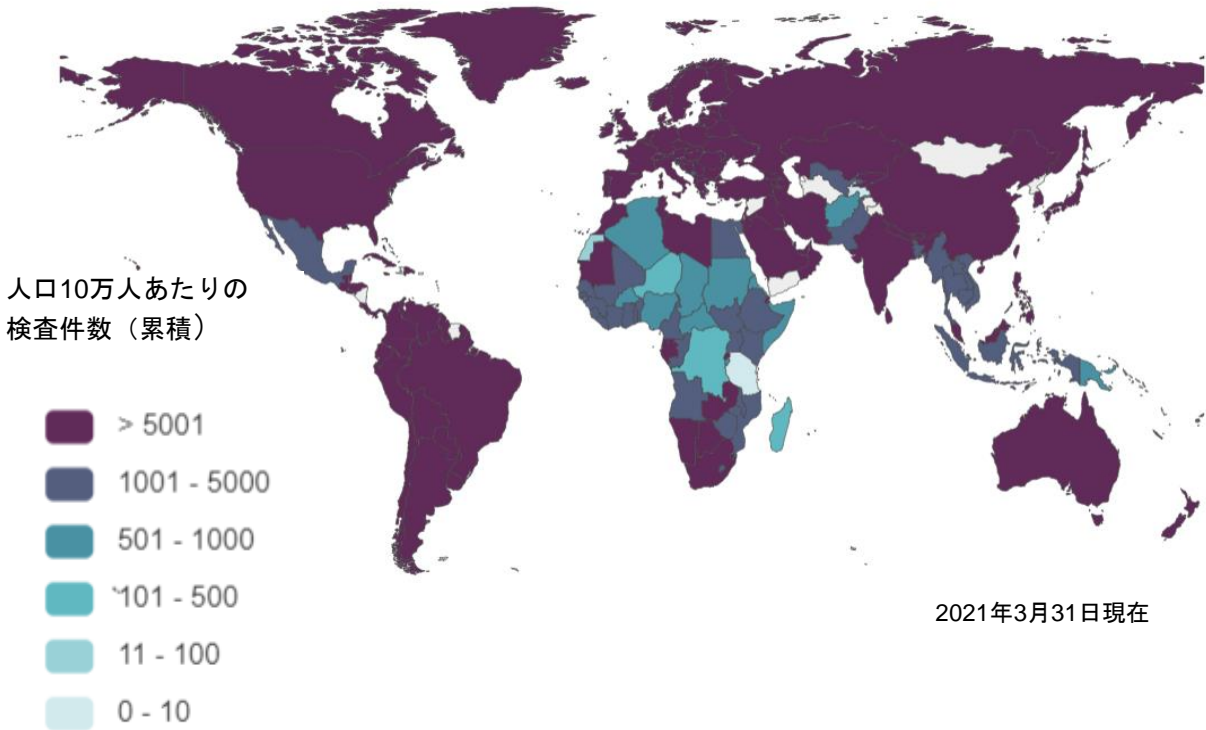
グローバルファンドの革新的オンライン
購入プラットフォームにより、交渉ずみ
の価格、医薬品や医療製品等の重要情報
の入手が可能



アフリカ向け新型コロナ検査の供給の半数以上を担う

アフリカはコロナの検査実施が大幅に遅れている

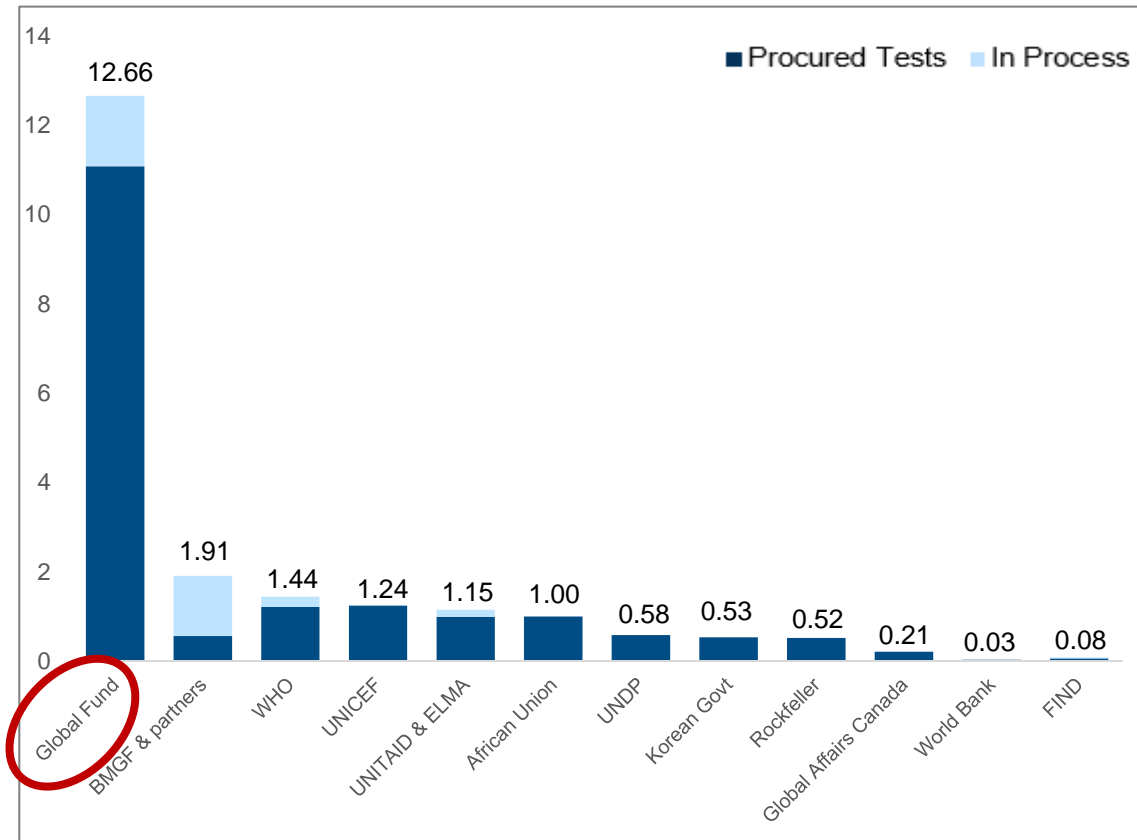
グローバルファンドは、アフリカ向けに調達された2135万キットの抗原検査のうち59%を供給



Source: <https://www.finddx.org/covid-19/test-tracker/>

（単位：百万）

As of Mar 15, 2021



Sources: Diagnostics Consortium for COVID-19 & Partners of Africa Union's Partnership to Accelerate COVID-19 Testing (PACT)

グローバルファンドはACTアクセラレーターの創設メンバー

診断部門と保健システムで主管組織、治療部門で調達・展開のリード組織を務める。

ACT-A運営協議会

共同議長:



ホスト



診断部門



Workstream leads:

1. 検査、デジタルツールの研究開発
2. 市場準備
3. 供給: WHO、グローバルファンド
4. 各国の備え
5. データ根拠とモデリング
6. 戦略的な民間セクターの関与
7. アドボカシー、コミュニティの関与: GFAN

治療薬部門



Workstream leads:

1. 迅速評価: Unitaid
2. 調達と現地展開: グローバルファンド、WHO

ACT-A 執行事務局

ワクチン部門



Workstream leads:

1. 開発と製造: CEPI
2. 政策と配分: WHO
3. 調達と大規模供給: Gavi

プリンシパル・グループ

各部門主管組織



BILL & MELINDA GATES foundation

経済団体等

保健システム・コネクター



WORLD BANK GROUP



World Health Organization

Workstream leads:

1. 保健財政: 世界銀行、WHO
2. コミュニティ主導対応: グローバルファンド、UNICEF
3. 統合データマネジメント: WHO
4. 最前線で活動するヘルスワーカーの保護: グローバルファンド、UNICEF
5. 民間セクター: 世界銀行
6. 診療: WHO、グローバルファンド
7. サプライチェーン: Gavi, UNICEF、グローバルファンド

アクセスと配分

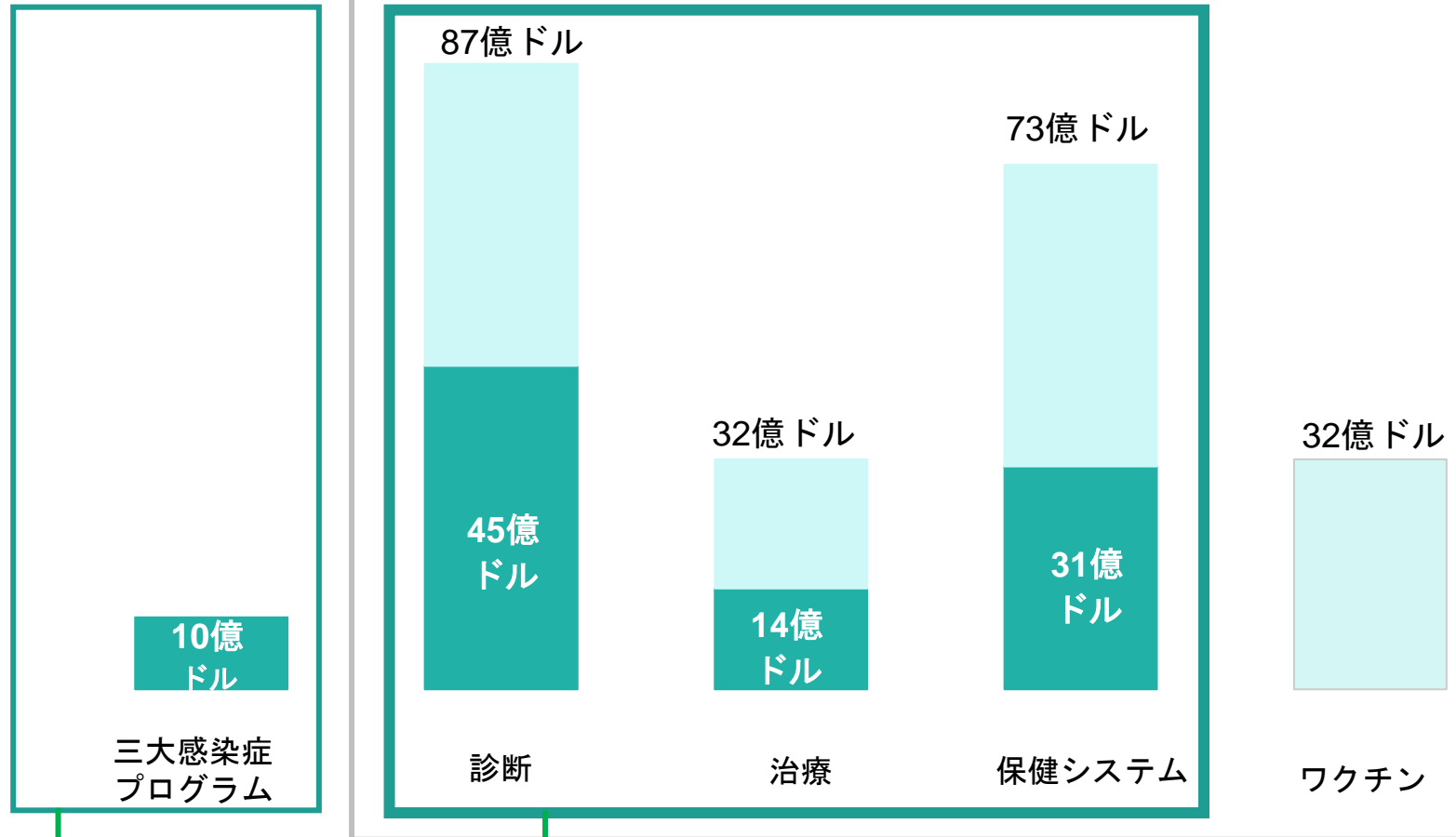


各国政府、市民社会、産業界と協働

ACT-Aとグローバルファンドのコロナ対応メカニズム（C19RM）

C19RMとは、コロナにより三大感染症対策が悪影響を受けることを軽減し、またACTアクセラレーターにおける診断・治療・保健システム部門での役割を果たすためのグローバルファンドの資金調達・配分メカニズム。

ACTアクセラレーター各部門の2021年の資金不足額



ACTアクセラレーター外の
資金要請: 10億ドル

ACTアクセラレーターの枠組みでの
資金要請: 90億ドル

- グローバルファンドはコロナ対応メカニズムに、2021年末までに**100億ドルの資金調達を要請**
- グローバルファンドの診断・治療・保健システム部門における要請額は、ACTアクセラレーター全体の2021年資金不足額（※）の30%に該当
- ACT-Aの診断、治療、保健システム部門での資金不足の解消につながる。

※3/12発表のACTAの資金不足額221億ドルから、米国とドイツによる直近の拠出誓約を差し引いた額

■ ACT-A の2021年の資金不足額
■ うち、グローバルファンドの2021年調達目標（要請額）



THANK YOU



UNITE^{TO} FIGHT